

栄養士規則制定70周年記念式典を開催

昭和20年に栄養士規則が制定されてから、今年で70周年を迎えました。これを記念して、平成27年5月30日(土)福井県国際交流会館において、「栄養士規則制定70周年記念式典」を挙行了しました。

式典では、福井県知事 西川一誠様をはじめ、衆議院議員 山本拓様、衆議院議員 高木毅様、福井県医師会会長 大中正光様、福井県歯科医師会会長 齊藤愛夫様、仁愛大学・仁愛女子短期大学学長 禿正宣様よりご祝辞をいただきました。また、福井県看護協会会長 樋村禎子様、福井県診療放射線技師会会長 福島哲弥様など、多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、盛大に開催することができました。

栄養士規則(厚生省令第14号)は、昭和20年4月13日に制定されたことにより、栄養士が公的に認められました。その後、栄養士規則は、栄養士法(昭和22年12月29日法律第245号)に引き継がれました。



栄養士が栄養士規則を十分に理解し、その普及を図り、また栄養士の活動の統一化を果たすべく、昭和20年5月21日には大日本栄養士会の設立総会が開催され、会長には厚生省健民局長、副会長には同省健民課長が就任されました。

本年は、栄養士規則の制定、大日本栄養士会の設立から70年目の節目の年にあたることから、管理栄養士・栄養士の活動のさらなる発展、公益社団法人の目的である国民の健康増進、疾病の重症化予防の推進のために、記念式典を開催しました。



福井県知事 西川一誠様



福井県医師会会長
大中正光様



福井県歯科医師会会長
齊藤愛夫様

栄養士規則制定70周年記念式典来賓御芳名

福井県知事	西川 一誠 様
衆議院議員	山本 拓 様
衆議院議員	高木 毅 様
福井県医師会会長	大中 正光 様
福井県歯科医師会会長	齊藤 愛夫 様
仁愛大学・仁愛女子短期大学学長	禿 正宣 様
公益社団法人福井県看護協会会長	樋村 禎子 様
公益社団法人福井県診療放射線技師会会長	福島 哲弥 様
一般社団法人福井県臨床検査技師会会長	谷口 晴信 様
公益社団法人福井県理学療法士会副会長	小澤 純一 様
福井県社会福祉協議会専務理事	中谷 章 様
福井県健康福祉部部長	山内 和芳 様
福井県健康福祉部健康増進課課長	宮下 裕文 様

平成27年度 公益社団法人 福井県栄養士会定時総会開催

平成27年5月30日(土)栄養士規則制定70周年記念式典後、福井県国際交流会館において「公益社団法人 福井県栄養士会定時総会」が開催されました。正会員659名中378名の参加（うち表決委任状258名）を得て盛大に行われました。新人紹介後、議長に山口多鶴子氏、議事録署名人に小川みちよ氏、田中範子氏が選出され、収支決算・予算案をはじめ、事業報告・事業計画等について審議し承認され無事終了しました。

特別講演には、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所情報センター センター長、梅垣敬三氏をお招きし、「健康食品の安全性と機能性について ー栄養士・管理栄養士の役割ー」と題してご講演いただきました。平成27年4月より「機能性表示食品」制度が施行されました。今後、食品の表示に関して、福井県栄養士会としての役割も重要になってくると考えられます。たいへん参考になる内容でした（内容は、3ページをご覧ください）。



新人welcome研修会

同日午前中に開催されました。

まず、清水名誉会長より「知らなかったとは言えない 管理栄養士・栄養士の業務とは」と題して、管理栄養士・栄養士の業務内容や最新の情報、法律、社会人として求められるマナーなどについて説明がありました。その後、各職域代表から、各職域の特徴や業務内容について説明がありました。

次に、自己PRシートを作成し、自分の職場の業務内容や感じていること、将来なりたい栄養士像などを全員が発表し、その後意見交換を行いました。



◆参加者の感想◆

管理栄養士・栄養士は常に新しい知識が求められるので、改めて生涯勉強をする必要があると思った。

清水先生のお話にとっても感銘を受けた。また、いろいろな職域の先生方のお話も参考になった。これからの業務に活かしたい。



定時総会 特別講演

健康食品の安全性と機能性について ー栄養士・管理栄養士の役割ー

講師：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所情報センター
センター長 梅垣 敬三 氏

健康食品の実態や、特別用途食品、保健機能食品、平成27年4月に新たに登場した機能性の表示ができる「機能性表示食品」について、また健康食品の安全性と機能性について、詳しくご講演いただきました。

「不確かな情報が氾濫する中、健康食品を医薬品と誤認して利用する人も多く、健康被害や経済被害にも影響するため、食品と医薬品は明確に区別しておくことが大切である」、「栄養士・管理栄養士は専門職として、常に新しい情報を収集し、消費者への迅速かつ正確な情報を伝達することが必要である」ということをお話されました。



国立健康・栄養研究所情報センター
センター長 梅垣敬三氏

機能性表示食品（平成27年4月から）

安全性及び機能性に関する一定の科学的根拠に基づき、食品関連事業者の責任において特定の保健の目的が期待できる旨（機能性）の表示を行うものとして、消費者庁長官に届けられたもの（販売の60日前まで）。

- ・科学的根拠等について消費者庁長官による個別審査は経ない。
- ・サプリメント形状、その他の加工食品、生鮮食品がある。
- ・疾病・未成年者・妊婦・授乳婦、食事摂取基準が定められた栄養素、アルコール飲料・脂質やNa等の過剰摂取につながるものは対象外。

～梅垣敬三氏の資料より～

医薬品と食品の分類

医薬品（医薬部外品を含む）

食品

特別用途食品（個別許可型と許可基準型）

【特別の用途表示ができる（国の審査が必要）】



特定保健用食品（個別評価型）（トクホ）

【保健の機能表示ができる（国の審査が必要）】



保健機能食品

栄養機能食品（規格基準型）

【栄養成分の機能表示ができる（国の審査不要）】許可マークなし

機能性表示食品（届出制）

【企業責任で機能表示ができる】許可マークなし

一般食品（いわゆる健康食品を含む）

【効果や機能の表示はできない】

～梅垣敬三氏の資料より～

生涯教育研修会について

学術研修事業部

管理栄養士・栄養士は、「栄養の指導」を通して人々の健康維持・増進、疾病予防と治療の支援にかかわる専門職です。専門職は、使命と責務を自覚し、常にその職能の発揮に努力することが必要です。

そこで、今まで行ってきた生涯学習（CE：continuing education）は、昨年度より生涯職能開発（CPD：continuous professional development）の考え方を取り入れたキャリアを支援できる生涯教育へと新しく生まれ変わりました。新制度では、会員の皆さまがご自身で単位取得を計画し、管理していただくことになります。

生涯教育研修会のご案内や制度上の変更点などは、本会HPでも随時お知らせしていきます。

平成27年度 生涯教育研修会 基本研修日程

月日・会場	時間	研修時間	形式	中項目	小項目
平成27年 6月13日（土） 福井県済生会病院 東館大研修室	33	90		（必修）	オリエンテーション
	14:40 ～16:10	90	講義	2-2 栄養の指導	日本栄養士会が目指す管理栄養士、 栄養士の将来像
	16:20 ～17:50	90	講義	4-5 栄養診断に基づいた管理計画 （栄養介入）	必要栄養素等量、栄養補給、 栄養教育、多職種との協働
平成27年 7月18日（土） 福井県教育C 4F大ホール	13:00 ～14:30	90	講義	4-6 個人を対象とした栄養指導 （栄養介入）	問診方法、 食事評価食事療法プラン提示 （各ガイドライン活用）、 栄養食事指導記録行動変容、 カウンセリング
	14:40 ～17:40	180	演習	4-6 演習 個人を対象とした栄養指導 （栄養介入）	演習
平成27年 8月22日（土） 福井県教育C 4F大ホール	13:00 ～14:30	90	講義	4-9 栄養管理のモニタリング・再評価	栄養モニタリング項目、 栄養モニタリングの方法、 問題点の抽出、評価（再評価）項目、 栄養とQOL、 栄養管理体制（品質）の改善
	14:40 ～17:40	180	演習	4-9 演習 栄養管理のモニタリング・再評価	演習
平成27年 9月26日（土） ユー・アイふくい 3F映像ホール	13:00 ～14:30	90	講義	4-10 栄養管理記録	問題指向型システム（POS）、 栄養管理の記録（SOAP）
	14:40 ～17:40	180	演習	4-10 演習 栄養管理記録	演習
平成27年 10月24日（土） 福井県教育C 4F大ホール	13:00 ～14:30	90	講義	4-11 チーム（多職種）による栄養管理	各種チームの組織と特徴、 各職種の役割、 クリニカルパス
	14:40 ～16:10	90	講義	4-12 地域連携	家庭地域における栄養・食生活管理支援 施設間連携、栄養ケア・ステーション、 栄養管理情報の共有項目、 栄養管理情報の共有システム
	16:20 ～17:50	90	講義	5-1 栄養管理のリスクマネジメント	（インシデント管理）
				5-2 給食管理のリスクマネジメント	（インシデント管理）
平成27年 12月12日（土） AOSSA6 F 福井市地域交流 プラザ研修室 ※会場変更	13:00 ～14:30	90	講義	2-1 国民の健康の増進の総合的な推進	健康日本21（第二次）、 健康づくりのための身体活動基準（指針） こころの健康・休養・禁煙
	14:40 ～16:10	90	講義	2-3② 根拠に基づいた栄養管理	最新の栄養療法の取り組み、 各職種の取り組み
	16:20 ～17:50	90	講義	2-6 保健機能食品と栄養成分表示制度	医薬品と健康食品栄養の質的評価 （利用効率）、 表示すべき事項、強調表示の基準
	13:00 ～14:30	90	講義	2-4 栄養（食物）と医薬品の影響	栄養（食物）が医薬品に及ぼす影響、 医薬品が栄養（食物）に及ぼす影響
平成27年 2月20日（土） 福井県教育C 4F大ホール	14:40 ～16:10	90	講義	2-5 栄養素の消化と吸収（代謝）	栄養素の消化吸収、栄養素の代謝、 栄養代謝異常と疾患
				3-1 対象者の把握	データベースの解釈と活用（個人・集団）
	16:20 ～17:50	90	講義	3-2 栄養食事基準	栄養食事基準の作成
				3-3 食品構成	食品構成の作成

- ・受講された研修会の単位取得証明書は、毎回の研修会終了後に受付で配布しています。
- ・「オリエンテーション」は必修科目ですので、本年度受講されなかった方は、次年度以降必ず受講してください。

生涯教育新制度の変更点について

- ・基本研修の項目番号、実務研修の職域ごとの科目と内容、項目番号が一部変更されました。
- ・認定管理栄養士・認定栄養士の申請手続きについて、一部修正がありました。
- ・昨年度、福井県栄養士会のキャリアノートを購入された方には、7月以降の研修会で訂正・変更箇所をまとめた追補版が日本栄養士会より配布される予定です。

基本研修の項目一覧の変更について

※変更箇所の一覧を生涯教育研修会で配布しています。また、今後本会HPでもアップする予定です。

36～37 (39～40)	中項目	1-1～1-7	中項目：1. 専門職としての役割と倫理綱領 小項目：医の倫理～コミュニケーション
		2-7.栄養成分表示制度	2-6.保健機能食品と栄養成分表示制度
		3-9.食事管理の改善	3-6.献立評価・食事管理の改善
		4-3.栄養アセスメント・栄養診断	4-3.栄養アセスメント 4-4.栄養診断
		4-5.栄養アセスメントにもとづいた管理計画	4-5.栄養診断にもとづいた管理計画(栄養介入)
		4-6～4-8	(栄養介入)
		4-9.栄養管理の実施・モニタリング・評価	4-9.栄養管理のモニタリング・再評価
		6-1.非常食の食事提供	6-1.非常時の食事提供
		8-1～8-3	8-1.栄養関連法規
		8-4.ライフステージと栄養関連法規	8-2.ライフステージと栄養関連法規
		8-5.その他	8-3.その他
(40)	大項目		9.その他
(40)	追記		※4.栄養ケアプロセスの「中項目」…

※平成26年度研修会4-4「栄養アセスメントにもとづいた管理計画」→4-4「栄養診断」にタイトルを変更します。
お手もとの認定証の科目名をご修正ください。

実務研修内容【分野別】 の変更について

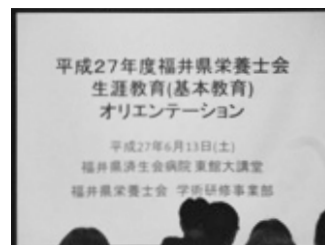
初版ページ38～95（第2版41～103）

- ・項目番号の追記がありました。
- ・科目名：栄養診断の【目標】【講義内容】の更新がありました。

実務研修項目一覧の 変更について

初版ページ96～（第2版104～105）

- ・簡易版の追加がありました。
- 第2版ページ106～121
- ・全面改稿になりました。



その他のお知らせ

生涯学習単位の 移行措置について

平成21～25年度に実施した生涯学習を受講し、単位を取得している会員は、移行措置期間(平成26年度から28年度まで)の間に、今まで取得した単位を新しい生涯教育の単位に振り替えて、申請することができます。また、実務経験が15年以上ある会員で、平成21～25年度に実施した生涯学習を受けていない会員についても移行措置があります(詳細は日本栄養士会HP、本会HPでご確認ください)。

実務研修の受講に ついて

実務研修は、専門分野(職域)が主体となって実施しますが、受講に関しては分野(職域)の制限はありません(受講科目の選択は、自身で行います)。

全国研修会や従来のスキルアップ研修会、都道府県栄養士会と賛助会員との共同研修事業なども実務研修に含まれます。また、他団体(医師会、看護協会など)の研修で、事前に内容の確認と手続き(都道府県栄養士会で、実務研修分野の単位の認定を行う)が行われていれば、5単位(臨床栄養分野は10単位)を上限に単位認定をします。(他団体等で行われた研修等：講義60分は0.5単位、演習90分は0.5単位)

「児童福祉施設におけるクッキング講座」

平成27年6月20日(土)
アイアイ鯖江健康福祉センター

平成27年6月20日(土)アイアイ鯖江健康福祉センターにおいて児童福祉施設におけるクッキング講座が開催されました。

この講座は児童育成協会児童給食事業部の助成により開催されています。福井県での開催は4年ぶりでした。

午前10時からスキムミルクを使った調理実習が開始され、30名(管理栄養士、栄養士、調理師、保育士)が、ごまだれうどん・鮭の洋風ちゃんちゃん焼き風・スキムチーズケーキ・キャベツのスキムゆかり和え・アップルジュースの5品をつくりました。講師は仁愛保育園 早崎京子管理栄養士が務めました。紹介されたメニューは、スキムミルクを使ったホワイトソースやチーズケーキなどであり、参加者は手際よく作りながら、飲むだけではない新しい利用方法とその調理の簡便さを再確認しました。

近年、保育施設では、使いにくい、子供が嫌う、牛乳の方がおいしいとの理由から利用する施設が減少傾向でした。しかし、賞味期限が1年と長期保存ができること、災害時には、水で溶かすだけで良質の蛋白質を補給できる備蓄食であると再認識されています。

午後1時から、50余名の参加者に対して社会福祉法人あすなろ福祉会あすなろ保育園 小林芳恵栄養士が「こだわりのある子供への対応」という題で、こだわりや個性の強い子供達への対応について、しっかり向き合う事で心を開いてくれるようになる、そうなるまで大変だとは思いますがみんなでサポートしてあげてほしい、と3事例を紹介しました。

2講義目は、福井県丹南健康福祉センター健康増進課 新田和美管理栄養士による「乳幼児の栄養管理」～平成27年度「健やか親子21(第2次)」～という題で、現在の福井県の肥満・やせ・食物アレルギーの現状について、新しい食品表示制度についてのお話でした。

最後のプログラムとして、参加者を6

グループに分け「肥満度18%を超えた園児への対応」について各グループ討議を行い、その内容を発表しました。

厨房業務のみに従事し、園児への食育、栄養管理に取り組むことが難しい管理栄養士・栄養士の存在が垣間見えました。



「2015健康づくり提唱のつどい」

平成27年6月27日(土)
福井県国際交流会館

少子高齢社会の本格的な到来に向けて～管理栄養士・栄養士の役割～と題して、「2015健康づくり提唱のつどい」を、6月27日福井県国際交流会館で開催し、約150名の参加がありました。

神奈川県立保健福祉大学学長 中村丁次氏を講師に迎え、「栄養は人々の健康長寿にどのように貢献しているのか」と題してご講演をいただきました。

「健康長寿の延伸には要支援や要介護にならないことが重要であり、そのためには、生活習慣病や老年症候群という要因を予防する必要がある。この予防の8割は食事に関連すると考えられ、食生活の改善で糖尿病を予防できるというエビデンスもあり、生活習慣病の予防に食事は有効であるということが証明されている」とお話されました。

また、「老年症候群の予防のポイントは、フレイル（全身の脆弱状態）に陥らないことである。食事量の減少で低栄養状態となり、活動量や筋力、身体機能が低下し、その結果、フレイルが形成される。その予防策のひとつとして、誰かと一緒に楽しく食事することで摂取量が増えて栄養状態が改善され、健康につながるという効果が期待できる。60歳頃まではメタボ対策、55歳頃からはフレイルの改善や下腿周囲長低下予防が必要となり、栄養は大きな役割を果たしている。また、機能性食材の研究成果からも、栄養素は命の素であり、機能性食品などの新たな栄養素は健康長寿を延伸するQOLの素である」とお話されました。

栄養・食事・健康情報の混乱の中、管理栄養士・栄養士は0次予防の拠点づくりを確立し、個人の栄養状態、健康状態を改善しQOLを向上していく事が重要であり、今後の管理栄養士・栄養士の役割を再認識しました。

また、ヤクルト中央研究所安全性研究所安全性第一研究室主席室長 小林稔秀氏より、「食物アレルギー」についてご講演いただきました。

「食物アレルギーが急増し、QOLに大きく影響することが問題となっている。アレルギーと免疫に関する基礎的な知識が必要であり、Th1とTh2のバランスがアレルギー予防には重要である」と説明され、アレルギーの事例、口腔アレルギー(OAS)、検査や治療法などについて詳しくお話されました。さらに、乳酸菌シロタ株がスギ花粉症発症を軽減する研究報告もありました。



参加者感想

・腸内環境を整え、健康長寿を延ばすには、何をどのように食べたらよいか、多くの情報から対象者に必要な情報を提供できる管理栄養士になりたいと思いました。

・医療費の増加をおさえるためには、管理栄養士が大きな役割を担っていることを再認識しました。



福井県版スポーツ栄養士養成研修会（3年目）

平成30年開催
福井国体に向けて



平成30年開催予定の福井国体に向けて、栄養管理や食事指導に関する指導者の育成が求められています。

この福井県版スポーツ栄養士養成研修会は、今年度で3年目となります。スポーツ栄養の知識や食事・栄養指導の実践力を身につけた管理栄養士を養成することにより、児童生徒の体力の向上や競技力に寄与することを目的としています。

平成27年7月4日に開催されるスポーツ栄養学会第2回大会への参加を含め、9月まで計3回開催予定で、スポーツ栄養の実践に向けて、さらなるスキルアップを目指します。

日程および研修内容

月 日 ・ 会 場	内 容	講 師
7月4日(土) 立命館大学くさつキャンパス	立命館大学で実際に使用されている測定機などの見学	
8月1日(土) 福井県国際交流会館 多目的ホール	午前	開講式・オリエンテーション 福井県栄養士会
	午前	アスリートに対する栄養教育の実践 神奈川県立保健福祉大学 鈴木 志保子 氏
	午後	スポーツ栄養 ～糖質、たんぱく質摂取を考える～ 神奈川県立保健福祉大学 鈴木 志保子 氏
		水分補給について 大塚製薬
		スポーツ栄養マネジメントの活用 神奈川県立保健福祉大学 鈴木 志保子 氏
9月12日(土)または9月19日(土) 福井県教育センター 301・302会議室	・必要量を把握するとは ・必要量把握の実際 ・事例報告	講師交渉中

午後は、スポーツ
栄養養成研修会受講者
以外の人も
参加できます。
皆さん、ぜひ
ご参加ください。

今後の研修会などの予定

詳しい内容は随時ご案内いたします。
ホームページでもご確認ください。

第1回福井県1型糖尿病研究会

日 時：平成27年7月29日(水)
19:20～21:05
会 場：ユアーズホテル5階ルミエール

第5回栄養管理・食育研究会

日 程：平成27年11月28日(土)
会 場：福井県国際交流会館 多目的ホール

平成27年度 在宅医療研修会

今年度も3回予定

年末懇親会

日 程：平成27年12月12日(土)

平成27年度 賛助会員名簿

五十音順



春夏秋冬
鮮度にこだわり
食の喜びと幸せをお届けする

株式会社アコス

〒919-0301 福井県福井市下細江町第6号1番地
TEL(0776)41-7400(代) FAX(0776)41-7401(代)

Eat Well, Live Well.
AJINOMOTO®

味の素株式会社 名古屋支社
〒466-8554 名古屋市昭和区阿由知通2-3
TEL(052)735-8410 FAX(052)733-3215

味の素株式会社 北陸支店
〒921-8042 金沢市泉本町1丁目8番地
TEL(076)243-5211(代) FAX(076)243-0255



「アボットは栄養の
グローバルリーディングカンパニーです。」

糖質の量と質に
配慮しました
低GI (Glycemic Load)

栄養機能食品(亜鉛・銅・ビタミンC)
グルセルナ-Ex
Glucerna-Ex

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。

アボット ジャパン株式会社 Abbott

糖質を制限した栄養補給に

株式会社 石川コンピュータ・センター NST 活動支援ツールのご紹介

栄養サポートチーム (NST) 加算制度が、創設されて
丸5年がたちました。NSTは、入院患者の栄養状態の改善、
治療効果アップ、合併症の予防等に大きな役割を担っ
ており、その取り組みが加速の一途をたどっています。し
かし、チームメンバーは通常業務を抱えたままでの取り組
みとなるため、業務負担が大いと思われる。特に、カンファレンスに必要な多
岐にわたるデータの収集において、課題を抱えている施設が多いのでは
ないでしょうか？ 検査結果や経腸剤・輸液の情報は、オーダリングシ
ステムから取得するが、栄養量は手計算、経口摂取は献立
から取得するが、個人ごとの摂取量はフローシートを参照
しなければならぬ。といった状況です。

当社のNST支援システムでは、院内の各システムに点
在しているNSTに必要なデータを自動収集できるため、
NST介入患者の状態の把握を素早く行えます。NSTメン
バーの負担軽減と、アセスメントにおける迅速な情報共有
に大きく貢献できます。

【お問合せ】(株)石川コンピュータ・センター
TEL 076-268-8315
HP <http://www.icc.co.jp/medical/>

ポットのお湯(80℃以上)で溶ける低ゼリー強度寒天。
ゼリーやペーストなど、幅広い用途にご利用いただけます。

介護食用ウルトラ寒天

寒天のトップメーカー
伊那食品工業株式会社

名古屋支店/愛知県小牧市小木東1-49 TEL 0568-75-6660

真心のこもった料理をより多くの皆様へ
IFSCO イフスコヘルスケア株式会社

医療・福祉施設等給食業務受託
(医療関連サービスマーク認定・日本メディカル給食協会会員・ISO14001認証)

本社 〒530-0001 大阪市北区梅田三丁目3番20号
福井事務所 〒910-0006 福井市中央3丁目3-21 福井中央ビル3階
Tel(0776)97-8156 Fax(0776)97-8157
ホームページ <http://www.ifsco-hc.co.jp>



選んで・のせて・サッと
調理にわかる！

簡単
レンタルプランも
ご利用ください

健康イベントに！メタボ教室に！特許取得・第3960391号
楽しい「体験型・参加型」の栄養指導システム!!
食育SATシステム
ICタグ内蔵フードモデルとパソコンを使った食教育環境

株式会社 いわさき 金沢営業所 [フードモデルドットコム](http://www.foodmodel.com) 検索

石川県金沢市京町32番22号 TEL:076-251-1418 FAX:076-251-1468



「MARVIE」は、カロリーが気になる方にも
安心・安全で豊かな食生活をお届けします。

安心して
安全

砂糖の
代わりに

やさしい
甘さ

K3 株式会社 H+Bライフサイエンス
TEL 06-6391-9151 <http://www.hb-life.jp/>

食文化の未来を創造しつづける
尾家産業株式会社

東証一部上場 コードNo.7481

福井営業所
福井市開発4-515 〒910-0842
TEL(0776)52-0841 FAX(0776)52-0783
URL:<http://www.oie.co.jp>
サンホーム・燦宝夢・サンブラザ印 総販売元 外食産業食材専門商社

鰹削りぶし JAS認定福井工場

国産乾物・国産水煮、冷凍野菜

鰹節・削りぶし・昆布・椎茸・煮干・わかめ・ひじき・海苔
胡麻・干瓢・たけのこ・れんこん・ぜんまい・わらび・牛蒡
ふき・きくらげ・舞茸・エリンギ・しめじ他

諸国乾物問屋 **株式会社 太田屋**

福井市高柳1丁目1401番地 tel.0776-53-2713
ホームページ <http://www.katuobusi-otaya.com> 「鰹節 太田屋」で検索

大塚製薬株式会社 福井出張所

〒910-0005 福井県福井市大手 2-7-15
明治安田生命福井ビル 3 階
TEL(0776)26-3005(代表)
FAX(0776)27-0590

あなたの健康を応援します。



ヘルシア

■お問い合わせは

0120-165-697

<http://www.kao.co.jp/healthya/>



食を通じて豊かな生活に貢献する

(株) 紙安産業 (水産物卸)
(株) シーライフ (給食食材卸)
(株) 紙安産業 (給食食材卸)
(株) シーライフ (水産加工品製造販売)
(株) 紙安産業 (食堂経営・給食サービス)

大切なあなたを元気にしたい!



ジャネフ

「おいしさ」と「機能」にこだわる医療用食品

キュービー株式会社 金沢営業所

〒920-0022 金沢市北安江4-18-6 TEL(076)262-6555



安心安全な食べ物を
ひとつひとつ心を込めて
手づくりで作っています

公衆商店
KOURAKU SHOUTEN

918-8057 福井県福井市加茂河原1丁目9-10
Tel:0776-35-4723 Fax:0776-35-3603
www.kouraku-s.com

アフラック募集代理店

三泉トラスト保険サービス会社

本店 医療保険部

0120357212



業務用・治療用食品と情報サービス
Confidence(信頼)の....."C"
Heart(真心)の....."H"
Expert(専門)の....."E"
Foods(食品)の....."F"

株式会社 サン食品

〒918-8161 福井市 銚ヶ崎町 25-58 ホームページ <http://www.sunsyokuhin.co.jp/>
TEL(0776)38-3830(代) FAX(0776)38-2985 メールアドレス info@sunsyokuhin.co.jp

液状濃厚流動食 **サンエット-SA**



たんぱく質とナトリウムの
量にこだわり、
さらにL-カルニチンを
はじめて配合しました。



販売者
株式会社 三和化学研究所
本社/名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631
TEL (052) 951-8130 FAX (052) 950-1861
●ホームページ <http://www.skk-net.com/>

給食食器・耐熱食器 企画販売

株式会社 下村漆器店

住所：福井県鯖江市片山町 8-7
TEL/FAX：0778-65-0024



〒921-8001 金沢市高島 3 丁目15番地
TEL 076(291)8848
FAX 076(291)0447



人にやさしい
安心の眠りをお届けします

TUK 東洋羽毛

0120-365021

Ca関連食材 治療食品
福井トータルケア 株式会社
 スカイ・フード事業部

〒916-0022 鯖江市水落1丁目5-35
 TEL(0778)52-4856 FAX(0778)51-7886



株式会社 中西製佐所
 福井営業所 福井市大膳寺三丁目9番1号(福井開発ビル305号)
 〒910-0001 TEL(0776)97-6272 FAX(0776)97-6327



パーフェクトシリーズ
 トウフィールシリーズ

日清オイリオグループ(株)
 健医食 営業部
 TEL03-3206-5636

乳類の製造および販売
日本酪農協同(株)
 北陸営業所

〒910-0837
 福井市高柳2丁目1301番地レインボービル6階
 TEL 0776(57)1201

使い易く、衛生的、働く人に喜ばれています。
ハセガワの木芯入り軽量まな板

抗菌かるがる

長谷川化学工業株式会社
 〒276-0022 千葉県八千代市上高野1384-5
 TEL (047) 482-1001 (代) <http://www.hasegawakagaku.co.jp/>

日本調理機株式会社 株式会社HATO機器販売 総合厨房設備・リフト設備設計施工
トータルキッチンプラザHATOKA
畑中厨房株式会社
 代表取締役 畑中 博
 〒918 福井市成和1丁目906 TEL(0776)24-1477 FAX(0776)22-3268
HATANAKA CHUHO CO.,LTD.



業務用厨房機器 総合メーカー
fujimak

株式会社フジマック www.fujimak.co.jp/
 福井営業所: 福井市和田東2-1527 Uビル1-B TEL0776-27-5799



特定保健指導
 糖尿病重症化予防
 お仕事に興味のある方は
 いつでもご連絡ください。

株ベネフィットワン・ヘルスケア
 〒163-1035
 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワーN棟35階
 TEL 03-6870-2707

北陸電力株式会社

新調理システム体験車
「オーロラ号」

ご用命・お問い合わせは
 福井支店営業部営業担当
 TEL 0776-29-6982
 FAX 0776-29-6981 まて



温めて、もっとおいしく！
 栄養価が高く、食べやすい

かつお風味 たい風味
 ほたて風味 まつたけ風味

ホリカフーズ株式会社

ホームページ: <http://www.foricafoods.co.jp>
 メールアドレス: okunos@foricafoods.co.jp



新潟営業所
 〒949-7411
 新潟県魚沼市大石59-1 FAX 025-794-4404



包丁・まな板いらず
 お手軽便利な「冷凍とうふ」

マメックスの**便利とうふ**

にがり100%、消泡剤無添加、化学合成添加剤なしの冷凍とうふです。
 凍ったまま簡単に調理できて衛生的、安心・安全な食品です。

株式会社 マメックス 営業本部 TEL (0568)26-4555
 〒481-0035 愛知県北名古屋市宇禮寺中込 12番地

福井県栄養士会に入会して共に活動しましょう!

(公社) 福井県栄養士会は、管理栄養士・栄養士の皆様が職業倫理を遵守した業務を行っていくために必要な新しい情報、良き指導者、語り合える仲間を提供しています。

社会に貢献できる管理栄養士・栄養士を支援する専門職能団体である当会に、ぜひ入会されますようご案内申し上げます。

平成27年度の新会員を募集しています

1 平成27年度会費内訳	既会員	新会員 (再入会)
福井県栄養士会入会金		1,000円
福井県栄養士会会費	8,000円	8,000円
日本栄養士会会費	6,500円	6,500円
合 計	14,500円	15,500円

2 納入方法について

(1) コンビニエンスストア (以下「コンビニ」) 収納の開始

ハガキ様式のコンビニ専用振込書が日本栄養士会から送付されますので、お近くのコンビニから納めてください (別途手数料108円は自己負担になります)。

(2) ゆうちょ銀行自動振込の停止

平成24年度より、ゆうちょ銀行からの自動振込は行っておりません。

(3) その他の方法での納入を希望される場合は、福井県栄養士会事務局にお問合わせください。

3 その他

(1) 会員証について

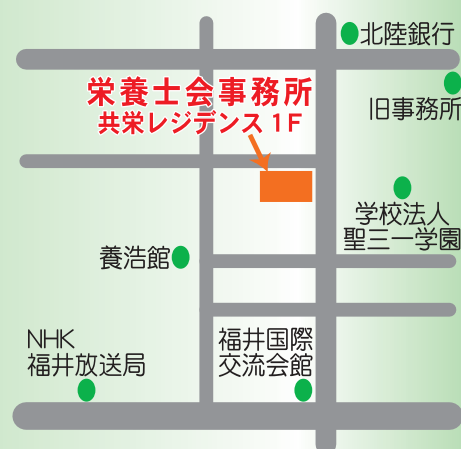
新会員の方には会費納入が確認され次第、日本栄養士会から会員証が「栄養日本」に同封されて届きます。

会員証は5年毎の更新制となっておりますので、既会員は昨年の会員証を引き続きご利用ください。

(2) 個人情報の変更について

姓、住所、勤務先等の個人情報の変更がある場合は、「会員登録事項変更届」(本会ホームページからダウンロードできます) に記入の上、福井県栄養士会事務局にFAXで送付してください (FAX: 0776-27-5999)。

栄養士会事務局のご案内



栄養ふくい 第4号

■ 編集 (公社) 福井県栄養士会
情報コミュニケーション事業部

松 原 啓 子
北 村 夕 子
西 島 佐智子

■ 印刷 マイプリントコーポレーション株式会社